



世界へのプレゼントになろう

第 2538 回例会 2016 年 3 月 16 日 (水) SAA (司会) / 山本会員 会報担当 / 伊藤会員

事務局 市原市五井中央西 1-22-25 市原商工会議所 2F 例会場 ニュー南総ゴルフ倶楽部

- 点 鐘 市原 RC 会長 万崎英正
- ソング 奉仕の理想
- お客様 米山記念奨学生 李俊傑様 婚約者キム様
- 会長挨拶 市原 RC 会長 万崎英正



今日のメインプログラムは米山奨学生の「李」さんの卓話です。当クラブに7ヶ月間奨学生として在籍し、白鳥さんがカウンセラーとして面倒をみてこられました。その報告書が先週私の所に届きました。その項目に奨学生の卓話を聞いての感想、奨学生との1番の深い思い、エピソード、奨学生が成長したなと思うことなどと書かれていました。目を通して見ますと、李さんが過ごしてきたことが事細かく記載されていました。本当はこの内容は李さんには内緒のようですが、白鳥さんからお話しが出ましたので、会員皆さんと李さんにご披露いたします。

李俊傑さんは、来日してから5年になります。母国で日本語の習得に励んでいたとはいえ、最近の卓話や文章に接しますと、日本語のマスター程度は第1級です。さらに、文章・卓話の構成がしっかりしています。専門とする学業、優しい性格、礼儀の面においても将来を嘱望される青年であります。

教師であったご両親と尊敬する兄さんと4人家族で培われたものと思われま。さらに李さんは、日本のアルバイト先と一緒に仕事をした親切なおばあちゃんの人情の機微に触れ、大学の研究室では熱心な指導教授によって、彼の資質は大きく育まれてまいりました。

米山奨学生となり、そのバックアップは彼の人生の一端とはいえ、お役に立てたと思います。彼の専攻はプロジェクトマネジメントで、内容は縦割りの生産工程に横割りのシステムを取り入れて無駄なく生産効率を上げることです。着眼点が素晴らしいと思いました。4度の学会を体験し、修士論文の審査では同学科の教授の方々から抜群の評価を得ています。またロータリークラブでの卓話は好評であり、米

山奨学委員会と奨学生の間でも信頼を厚くし、次年度奨学生の審査にも携わりました。「自分の力で世の中を少しでもよく変える」は李さんの生涯の願いであります。このまま弛まず、人格に磨きをかけて、世に役立つ人になって欲しいと思います。その下地を十分備えている李さんであります。嬉しいことに彼には人生最大の慶事を控えております。四月からは社会人となり、良き伴侶を迎えて、より充実した希望に満ちた生活を送るようになります。李俊傑さんが「人類に奉仕する」姿はどのように出てくるのかと思いを巡らすだけでも楽しくなります。李さんとの出会いを提供してくれた米山奨学会に感謝するとともに、李さんとの関係を続けてまいります。また市原ロータリークラブでも李さんの今後に大きな期待を寄せています。白鳥さんからの所見は以上です。

これはこのまま結婚式の挨拶になりそうですね。

今日フィアンセのキムさんがお見えになっています。きっと幸せな暖かい家庭を築き、奨学生で培った精神を家庭に、社会にいかしてくれる事と思います。何か彼に困った事が起きたら日本のお父さんは白鳥さんですから。何でも相談下さい。きっと良いアドバイスが帰って切る事でしょう。お幸せになってください。

### ◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

4月の例会より、12時から食事ができるようになりますのでよろしくお願いたします。

### ◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆

#### 長期計画委員会 西村委員長

30日の例会は第2回のテーブルディスカッションを行います。テーマは「社会奉仕について」です。皆さまに意見を出していただき取りまとめたいと思いますのでよろしくお願い致します。



ロータリー財団より三木会員へ年次基金への寄付でバッジがおくられました。

## 本日のメインプログラム

### 「奨学期間を終えながら」

米山記念奨学生 李俊傑 様



皆さん、こんにちは！

本日は貴重な時間をいただき、誠にありがとうございます。

最後の例会ということで、皆様に自分のことをはっきり覚えていただくため、自己紹介から始めたいと思います。

#### ■自己紹介

私は中国黒竜江省にある、鶏林という小さな村で次男として生まれました。その村はロシアの国境から30キロぐらいしか離れていません。小学校卒業旅行で国境線を見学した覚えもあります。



ところで、中国は数多い民族があることをご存知だと思いますが、詳しく言うと56民族あります。私の家族はその一つである朝鮮民族の四人家族です。両親は今、韓国に住んでいます。定年前は、二人とも教育職位に30年就いていました。ここで面白いエピソードは、私が小学生のときの担任先生が自分の母でした。そして、中学生のときも父が私の授業に出たこともあります。他に今、上海で建築士として活躍している兄がいます。兄はいつも私に輝かしいお手本を示してくれました。中国の名門大学を卒業した兄は大学卒業して10年経った今、設計から竣工まで至った建物が5件もあります。最初の設計した無錫博物館は日本人観光客からも感心なコメントもありました。家族の誇りとも言えるでしょう。

以上、私の家族についてご紹介させていただきましたが、振り返ってみると、我々兄弟が今まで取得した成績は、小さい頃から両親の正しいかつ厳しい教育があったからだと思います。この場を借りてもう一度、両親に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

#### ■日本文化との出会い

次に私と日本との出会いについてお話したいと思います。それは宿命的な話ではありませんが、何か縁が繋がっていたものもあったと思います。中国では中学校から外国語の勉強に入りますが、ほぼ英語を勉強します。しかし、我々の学校は少し変わって、外国語が日本語になっていました。また、叔母の旦那さんが日本人の方でしたので、なんとかその人とたくさん話したいと思って、日本語に一層興味を持つことになりました。人間はあることに夢中になると必ず上手いくはずです。その通り、中学4年、高校3年間に渡って私の日本語の成績はいつも優秀でした。その時から、日本に留学したいと決心したのです。しかし、大学に入ってから日本語の授業がほぼなくなり、履修科目が多かったため、一度は日本語力を失ったことがありました。「このままでは日本に行けないぞ」と思った私は、日本語を猛復習し、やっと大学を卒業する前に日本語能力検定試験2級に合格しました。

#### ■日本に来た決め手

2010年に大学を卒業した私は、まず就職しました。目的は二つありました。

会社で社会経験を積むことと少しでも貯金して留学時に使おうと思ったことです。この二つの目的を2年間で達成するつもりでしたが、社内のあるプロジェクトで日本人の技術者と出会うことで、計画が前倒しになりました。当時私は、その方と同じプロジェクトチームではありませんでしたが、社内で日本語が喋れる人は私しかいませんでしたので、仕事上どうしても英語で通じなかった部分は私と日本語で相談して、会社側と意思疎通しました。その方とは仕事面だけではなく、日常生活、人生や夢まで広がりました。その方の「本当にやりたいことが見つからなかったら、探し続けてください」という一言に感心した私は、日本留学のことを急ぎ、2012年の3月28日に初めて日本の国土に立ちました。

#### ■来日後

初めて日本に来た頃は、それほど苦労はしませんでした。日本語の基礎がありますし、食習慣も我々朝鮮民族とそんなに変わらなかったからだったと思います。

このように、日本の生活にすぐ慣れた私はちょうど一ヶ月後からアルバイトを始めました。アップルストアというお店で開店前に年配のおばあさんと二人で掃除する仕事でした。最初はうまくいきませんでした。おばあさんがモップの握り方から詳しく教えてくださったおかげで、どんどんうまくなりました。私はおばあさんと仕事が終わったら、日中韓三ヶ国の伝統文化や趣味などについて歓談していました。日本語は語学学校だけではなく、このように実際に日本人の方と日常いっぱい喋ることで上達するのだなと感じました。おばあさんも私のことを可愛がってくださいました。私が日本語能力限定試験N1に合格した時はダウンジャケットまで買ってくれました。

そんなおばあさんがある日無断欠勤するなんて…翌日、訃報が私の耳に入りました。その時の気持ちは言葉では表現できませんでした。ほぼ毎朝一緒に店に入って、仕事をして、帰りは必ず10分ほどおしゃべ

りしていたあのおばあさんが突然いなくなるなんて、私にとってはショックでした。それ以来3年経った今でも、たまにおばあさんが最後に私に「今日もお疲れ様でした」と言ってくれたその一言を思い出します。

## ■大学院

2年間の語学学校での勉強を終えた私は2014年4月に千葉工業大学大学院に入学しました。私が勉強している学科はプロジェクトマネジメント学科と言います。では、この学科の研究分野を説明させていただきます。大きなプロジェクトを実施するためには、性格、技量、専門分野の異なる人たちを集めてチームを編成しなければなりません。その意見をどうまとめ、限られたお金や時間をいかに有効利用するかなど、良い結果を得るために考えるべきことはたくさんあります。これらを管理してプロジェクトを成功に導くのがプロジェクトマネージャ。目標の達成には計画が必要であり、計画を首尾よく実行するためには、幅広い分野に通じたノウハウや知識が必要です。それらをバランスよく、実践的な学問として学びます。それを活かす現場は、製品やソフトウェアの研究・開発、企業・行政の運営など。つまり、プロジェクトマネジメントとは、「これまでに経験したことのない新しいものをつくり出す仕事」といえます。ソフトウェアやIT関連の開発でプロジェクトマネジメントの知識を必要とする企業は数多く、製造業でも商品技術開発プロジェクト要員として相当のニーズがあります。そこで、今年の8月中旬に私は富士ソフト株式会社というIT企業に内定をもらいました。就職活動中の苦しさは言うまでもありませんでしたが、良い結果が出て本当に良かったと思います。プロジェクトマネジメント学科を卒業した以上、今後はこの業界で絶対信頼されるマネジャーになることを目指して頑張りたいと思います！

## ■4年ぶりの中国

私は2015年12月24日から1週間、中国に帰ってみました（上海、中国）。短い1週間に感じたことをまとめると以下となります。

### 1. 悪化した環境

今回、私は上海から青島移動するのに車を使いました。700キロの長い距離であって、朝から夜までかかりました。途中で一番印象的だったのがPM2.5の恐ろしさでした。高速道路の700メートル先しか見えない状況でした。また、灰色の空を見て、今後はどうなるのだろうと心配しました。しかし、いつもそうであるわけではありません。たまには、真蒼な空を見ることが出来ます。

### 2. 驚きの消費

上海に着いた翌朝、私は外で食事をしました。しかし、4年前の物価とは驚くほど違いました。例えば、日本で松屋の朝食セットレベルの食事でしたが、なんと1,000円ぐらいの値段でした。

また、中国では近年、キャッシュレス化が進んでおります。よほど古い店じゃない限り、会計がモバイル端末で済むことができます。調査によると、2014年度、約3.58億人がモバイル端末で16万億元（2.8兆円）の支払い額が発生したそうです。

### 3. 乱雑な社会ルール

中国は近年経済、科学技術などの面で著しい発展を図った一方、社会ルールのなものは全く進歩がありませんでした。トイレにはトイレトペーパーがない、待ち列を作らない、横断歩道前で、車はスピードを落とさないなどの問題は依然としました。いつか、上記の状況が改善できない限り、中国は国際社会から尊重されないであろうと思いました。

今年の4月から私は富士ソフト株式会社の我孫子オフィスで仕事を始めます。事業内容は社会を支える最新技術の提供です。詳しくはまだはっきりわかりませんが、それらの技術を身につけ、いつかは中国で上記の社会問題を解決していきたいと思います。

## ■ロータリーとの「出会い」

いつのまにか、皆様との付き合いは1年経ちました。ちょうど1年前、同じこの場所で皆様と会いました。その時は、緊張しすぎて、皆様の顔も見ることができず、何かなんだか全くわかりませんでした。しかし、1年経った今、このように皆様の顔を見ながら、言いたいことを言えることになりました。それは最初から、皆様が優しく笑顔で声をかけてくださったからだと思います。そして今まで例会で様々な報告を聴いて、ロータリーは本当に素晴らしいことをしているんだと実感しました。また、カウンセラーの白鳥さんとも例会会場に行くときや帰りに色んなことについて歓談します。今まで耳にしたことのない言葉や面白いエピソードをいっぱい聞かせてください頂きました。これは、まだ若い私に対して大切なことであり、これからの人生で絶対役に立つと思います。それに対して、奨学期間が終わって連絡が取れる奨学生は三分の一しかいないという現実があるそうです。しかし私は、このように貴重な経験をくださる組織とは奨学期間が終わっても、ずっと続けたいと思います。

また、米山奨学生になって世界各国から来た優秀な留学生たちともコミュニケーションが取れて本当に嬉しかったです。地区の様々なイベントを通じて、みんな仲良くなり、まさに国際親善の場を作ってくださいました。

2016年3月2日、五井ホテルの例会会場で奨学金の受領後、私は改めて会場を見回りました。この1年間、この場に来るたび、優しい皆様にお会いできて本当に嬉しいでした。

本日をもって、奨学期間が終わりになりますが、私とロータリーの絆はもはやできています。これからも、ぜひ市原RCにお邪魔させてください！以上、ご清聴ありがとうございました。



## 李俊傑様・キム様

本日は最終例会になりますが、この一年間、会員の皆様に本当に感謝いたします。今後ぜひ、またお邪魔させてください。ありがとうございました。

## 白鳥会員

米山記念奨学生の李俊傑さんが大変お世話になりありがとうございました。

## 上野会員

李君、ご結婚おめでとうございます。米山記念奨学生として責任と誇りをもって良い人生を歩んでください。

## 万崎会長・平野幹事

李さん、キムさん、ご結婚おめでとうございます。末永くお幸せに！

## ■出席報告 前々回確定 70.27% 本日出席 30名

欠席 12名 本日出席率 84.00%

## ■点 鐘 市原RC会長 万崎英正